

ラベルワーク

■特性

- ◇自分の思いや考えを自由に出すことができる。
- ◇一人ひとりの思いや考えをグループのメンバーで分類・整理し、構造的にまとめることができる。
- ◇参加者の価値観や考え方の多様性が理解できる。

■準備するもの

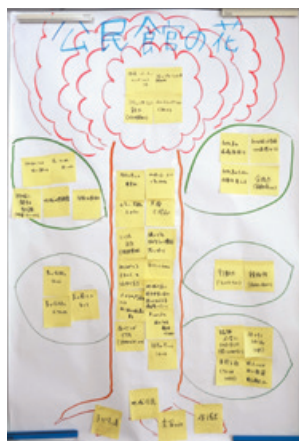
付箋 サインペン（黒・人数分） 色マーカーセット（グループ数分） 模造紙（グループ数分）

■進め方

- 1 4～5人のグループをつくって座る。
- 2 テーマについて、思ったことや考えたことを付箋に書く。
※1枚の付箋に1つのことを!! 簡潔に!! できるだけたくさん!!
- 3 グループで話し合う。
 - ① 順番を決めて、1人が1つの付箋を簡単に紹介してはる。
 - ② 同じ・似た内容の付箋があれば、紹介して近くにはる。
 - ③ 次の人が、別の付箋を簡単に紹介してはる。
 - ④ ①～③を繰り返し、島（仲間）をつくる。
 - ⑤ 島と島の関係性を考えて、整理しながら、島ごとに見出しをつける。このとき、簡単な図や絵、枠や記号等を用いて、イメージ化や構造化をすると関係性がわかりやすい。
- 4 話し合いの後、グループごとに成果物を見せながら発表する。

■留意点

- ◇付箋に書く作業の際には、書くことを想像しやすくするために、必要に応じて具体的な場面等を伝える。
- ◇思いを書きにくい参加者には、メモ程度でもよいとし、はり出す時に思いを語ってもらう。
- ◇ラベルに同じ言葉が書かれていてもその意味合いが異なることもあるので、一人一人に思いを語ってもらうことが大切である。



例：【イメージ化】（左）「植物」（中）「人間の身体」（右）「段階」

ラベルワーク 進行例

50分程度の設定の場合

① 説明を聞き、個人で付箋に考えを記入する (10分)



「〇〇〇」について思ったことや考えたことを付箋に書いてみましょう。
思いつくままに簡潔に書いてください。
ただし、1枚の付箋には1つのことを書きます。
例えば… (【例】を参考に説明します)。
できるだけたくさんの付箋に書いてください。

【例】 「理想のファシリテーターとは」というテーマに対して

× 1枚に複数のこと

明るくてユーモアがある



○ 1枚に1つのこと

明るい

ユーモア

② グループで話し合い、付箋を分類し、島をつくる (15分)

次にグループでの活動に移ります。
まず、グループ内で発表の順番を決めましょう。
最初の方が、1枚の付箋を模造紙の上にはり、書いたことを簡単に紹介します。
その時、メンバーの中に同じ、または似た内容の付箋を書いている人がいれば、紹介しながら、その付箋の近くにはってください。
似た内容の付箋がなければ、次の方が別の付箋を1枚出し、同じように紹介してください。
これを繰り返して、模造紙の上いくつかの付箋の島(仲間)をつくっていきましょう。



③ 島を整理して、見出しをつける (15分)



今、模造紙の上に、いくつかの島(仲間)ができていると思います。
その島の特徴を表す見出しを話し合っつけてみましょう。
その際、島と島の間を関係を考えて、島の位置を動かしてもかまいません。
また、簡単な図や絵、記号を使って整理してもかまいません。

④ 他のグループの発表を聞く (10分)

それでは、他のグループのみなさんがどんなことを話し合ったのか聞きましょう。
成果物を見せながら、話し合ったことを発表していただきます。



※ふり返りと分かち合いの活動につなげる。